

◆コロナ関係

長期連休後、やや増加傾向にありましたが、今は新規感染者は4万人を切る状況が続いています。減りもせず増えもせずといったところでしょうか。

欧米ではマスクは必須ではなくなっているところもあります。一方、中国はゼロコロナ政策のため、大都市のロックダウンが続き、社会生活や物流に大きな影響がでており中国の成長率は4%前後と厳しい予測がでています。

GAFAMといったIT巨大企業の業績も低迷してきており、特にiPhoneの95%の生産を中国でおこなっているアップルは納期に大幅な遅れがでています。

また北朝鮮でも感染が拡大し、国民のほとんどがワクチン未接種であり、接種するとしても効果の疑わしい中国製ワクチンしかありません。

かたや日本では、余ったモデルナワクチンの使用期限が切れようとしており、その数は何万本にもなるそうです。昨年7月にワクチン不足で一時病院での接種を取りやめた時期もあったわけで、隔世の感があります。



いい言葉

蜂は暗闇でなければ蜜を作らない。
脳は沈黙でなければ思考を生まない。

トーマス・カーライル

誰でも静かな環境を持っているわけではありません。それでも、就寝前、朝起きたとき、仕事のあとなど、一日のうち限られた時間を黙想することが大切であるということです。

神戸で一番
親切で
丁寧で
優しい医療を



◆今週の院長予定

5月16日	月	8:00運営会議、17:30薬事審議会、18:00治験委員会					
5月17日	火	9:00外来、14:00手術					
5月18日	水	松江					
5月19日	木	9:00~11:00来客、13:00県庁訪問					
5月20日	金	9:00外来、14:00手術、16:00コロナ対策会議					
5月21日	土	9:45新須磨クリニック、14:00介護の家訪問診療					

◆私の本棚

・ウクライナ紛争 歴史は繰り返す
戦争と革命を仕組んだのは誰だ
馬淵睦夫 WAC

著者は元駐ウクライナ大使。かねてより、日本の自虐史感に基づいた外交や教育を問題視してきた愛国者。今起こっている、ロシアによるウクライナ侵攻は決して許されるべきものではないが、ロシア悪、ウクライナ善という、極端な二価的な考え方に疑問を投げかけている。

日英同盟、満州併合、シベリア出兵、大東亜戦争、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、アフガニスタン侵攻など、さまざまな局面で働いていた闇の勢力について解説。ほとんどの国が国益を第一に考えて行動して行動しているなか、日本の脆弱な国家意識に警鐘をならしている。



縁の下の力持ち⑮
CCAC

CCACとはコミュニティー・ケア・アクセス・センターの略で、2000年ごろに開設しました。今なら多くの病院で設置されている「地域連携室」に相当しますが、当院では外向きには地域医療相談センターと命名し、院内では今でもCCACで通っています。

地域連携室の主な役割は、病院の前方連携と後方連携を取りまとめ、円滑な連携を行うことです。ただ以前と異なり、患者さんは独居で認知の高齢者が多くなってこと、連携先も多種の高齢者施設と多様な病院があること、在宅となると訪問看護や在宅医の選定と調整、など業務が複雑になっています。

病院内外のインターフェースとしてますますその重要性は高くなっています。